

高等部作業学習(縫工班)では
防災リュック
ひえひえストール(節電対策製品)



調理実習で
レトルト食品や缶詰を意図的に活用



○中学部の授業で(生活単元学習)

「災害に備えよう

～自分の身を守るためにできること～」

- ・ 防災リュックの中に入っているものは？
- ・ 足りないものを買いに行こう
- ・ また、その利用方法は？
- ・ AEDについて知ろう 置き場所は？

高等部の生徒へ防災授業

- ・ 危機管理アドバイザー

国崎信江先生より 10／5

「災害から自分で自分の身を守るために」

電車に乗っている時の体の向きは進行方向

体重の4倍ある物は危ない

2階にいたら1階に降りない

災害伝言ダイヤル171 等

高等部自主通学生(部活動参加者) 集会 10/5

- ・ 震災時を思い出しながらブレインストーミングをしたり、具体的な場面設定でロールプレイングをしたり
- ・ 災害時に必要となるコミュニケーション手段のスキル獲得に向けて

新聞記事で紹介

千葉日報
(6. 10掲載)



日本教育新聞
(7. 18掲載)

課題

- (1) 授業を通した取組については、高等部の生徒を中心に、防災を身近な問題として取り組む機運が高まり、中学部の生活単元学習や全校集会での取り組みも始まった。来年度以降への継続が課題である。
- (2) 東金市、社会福祉協議会、北之幸谷区とのネットワークができ、地域と共に取り組む防災教育の足場はできつつあるが、学区の2市4町への働きかけを、今後さらに進めていくことが大きな課題となる。
- (3) 本校は東金市の避難所に指定されているが、具体的な避難所開設の手続きや必要な物資等の確保については未定の状態にある。今後、県教育委員会の指導をふまえて、東金市との協議を進めていきたい。

防災教育のポイント

～防災＝「命を守る」力を育てること～

- ① 自分で判断そして行動へ
自分で自分の身を守るために
クロスロード等
(想定にとらわれない 正解はない)
- ② 行動するために知っておく
災害時の「ほうれんそう」
～緊急時のコミュニケーション～
ブレインストーミングやロールプレイング
- ③ 防災、災害ボランティアを目指して
個を尊重し認め合う 地域とのつながりの中で

防災教育に関わり始めて

- 防災は誰にでも必要なことである ☆温度差
- 誰とでも
 どんな取り組みでも
 防災教育を関連付けることができる ☆地域差
- そこに命の大切さを実感する

防災(教育)の意識があれば
被災地への思いも消えない
今からできることも きっとある

生徒会のテーマ

～つなげよう～ から思うこと

- 過去～今～未来への(文化)
 時間をつなぐ
- 自分～家族～友だちや地域(ユニバーサル)
 ～チャレンジプランの仲間～
 人をつなぐ
- 学校～市役所～社会福祉協議会～県(地域)
 組織をつなぐ
- 授業や行事を防災教育でつなぐ(普段実践していることを防災という視点で見直す)